

令和3年度（2021）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

穴吹調理製菓専門学校

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 穴吹調理製菓専門学校 学校関係者評価委員会は、令和3年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

令和4年3月23日
学校法人穴吹学園 穴吹調理製菓専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて穴吹調理製菓専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹調理製菓専門学校が行なった教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

村上 勝彦	有識者委員	広島県洋菓子協会副会長 (エルブラン松月堂 代表取締役)
田淵 浩	企業等委員	菓子工房サンクラフィューユ オーナー
竹内 和雄	企業等委員	キッチンハウス タケウチ オーナー
田島 建彦	高等学校関係委員	元高等学校校長
山本 啓文	卒業生代表委員	(やまもと商店オーナー)

(学校教職員)

藤井 悦子	穴吹調理製菓専門学校	校長
信岡 誠三	穴吹調理製菓専門学校	副校長
壽福 英尚	穴吹調理製菓専門学校	教務部長
高橋 克行	穴吹調理製菓専門学校	教務課長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和4年3月23日(水) 15:00～16:40

開催場所 穴吹調理製菓専門学校校舎2階レストラン実習室

4. 自己評価結果の説明・報告 (自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和3年度の目標と計画」について説明。

各自己評価項目に関し「評価結果 (総括)」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

①資料確認

②3ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）について説明

③学生動向（入学生数、在籍数、卒業生数、休・退学率 等）について報告

④自己評価報告書

（重点目標）

1. 各部署が一丸となり、OC捕捉率58%、出願目標83名、入学目標75名を達成する。
2. 国際調理ビジネス学科の募集のテコ入れを行い、学科の入学目標数を達成する。
3. 学生への早期対応と保護者との連携をより一層強化し、退学率3%未満を達成する。
4. 学科ごとの教育内容の更なる充実を図り、到達目標を明確にし、3ポリシーを浸透させる。

（目標達成のための具体的事業計画、行動計画）

1. OCでの丁寧な対応と確実なガイダンスをすることにより、2年連続での入学目標を達成する。
2. 問題学生の早期発見と組織対応、保護者との連携強化により、退学率3%未満を達成する。
3. 就職CC、留学生サポートセンターと協力し、日本人学生の内定率100%および留学生の進路決定率100%をいずれも2月末までに達成する。

×項目の内容と改善点などについて主に報告

- ・3-11-d 県内の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか
他の専修学校と連携した教育は実施できていない。
- ・3-12-a 学生が地域の産業、自然、歴史、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか
国際調理学科は一部日本文化に触れるカリキュラムを実施できているが、他の2学科については授業内で産業、自然、歴史、文化に触れる内容のカリキュラムは実施できていない。
- ・5-2-c より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか
大学との併修、接続体制は取れていないが、これまで編入などの希望者はおらずニーズは低いと思われる。
- ・5-11-a 卒業生の資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか
卒業後、担任レベルで支援・指導することはあるが、学校全体としての支援体制は整っていない。
- ・5-11-c 卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか
同窓会と連携体制は構築されているが、学校主催での研修会等は実施できていない。
- ・5-12-a 大学等卒業生の入学に際し、入学前の履修に関しての取り扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか
大学との単位互換がなく、学則・細則に規定できていない。
- ・5-12-b 教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか
最短修業年限で資格を取得できる学科を廃止した為、教育訓練給付金認可条件を満たしていない。
調理、製菓共に1年コースを希望する声がある為、再度学科設置を検討してもらいたい。

- ・6-4-b シェイクアウトや各県・市・町が行う防災訓練等に参加していますか
年1回消防避難訓練は実施しているが、行政が主催する防災訓練には参加出来ていない。
- ・10-4-a 県専各連合会の若年者職業意識涵養事業（県の委託事業）に積極的に参加していますか
県の事業には参加していないが、中・高校生に対しては教育連携により、マナー指導や面接指導、職業体験などの依頼を積極的に受託している。

(目標達成状況)

1. 入学目標
令和3年度 入学目標未達成（令和4年度生）
2. 退学率目標
令和3年度 退学率目標未達成
3. 就職目標
令和3年度 就職目標達成

(今後の課題・改善方策)

1. 入学目標を達成するために、体験メニューの見直しやSPメニューの実施、WebOCへの注力など、これまで以上に捕捉率の向上に努める。
2. 年間のガイダンス回数を見直し、欠課率の高い学生や問題学生については早期での対応と併用して校内カウンセラーを積極活用し、退学目標を達成する。
3. 次年度は面接対策授業の実施時期や合同企業説明会の実施時期など見直すと同時に、これまで以上に就職CCとの連携を密にし、早期内定および有名ホテル等への内定率向上に向け、組織的に取り組む。

5. 事業報告

①資料確認

②学生動向（入学生数、在籍生数、卒業生数、休・退学率 等）について報告

1. 学生数報告
年度当初106名、退学4名、休学5名、退学率3.8%、年度末での在校生数97名
2. 次年度学生数
出願67名、入学予定62名、新年度在校生数124名

- ・高度調理学科が定員を満した理由は？
明確な理由は分かっていないが、コロナウイルスの影響で県外に出る学生が少なかった可能性はある。
- ・国際調理ビジネス学科の募集人数は何名か？
定員は20名だが、近隣で同様の学科を設置している専門学校は無いため、10～15名は集めたいと考えている。
- ・国際調理学科に在籍している学生の出身国は？
ネパール、ベトナムが多い。
- ・退学理由で一番多い理由は？
経済的な理由やクラス内での人間関係に起因するトラブルが多い。また、近年精神的に弱い学生が多く、学内に専門にカウンセラーを設置している。

3. 令和3年度 就職活動について

卒業生数37名、就職希望者33名、内定者33名、業界内定率100%

- ・就職活動において、学生は自発的に行動するのか？

学生の希望職種や勤務地などの条件に応じて、マッチングを行い、担任と話し合いながら就職活動を行っていく。

積極的に動かない学生に対しては就職キャリアセンターとも連携し、都度対応している。

- ・将来的に独立開業を目指している学生はいるのか？

入学時点で開業を意識している学生は多いが、卒業時には残念ながら少なくなっている。

開業を目指している学生に対しては、学校としても積極的にサポートを行いたいと思う。

- ・就職先は全体的に地元が多く、都心部等の有名企業に入った学生が少ないのではないかと？

今年度はコロナの影響もあり、地元志望の学生が多かった。また、東京や大阪などからの求人も例年よりも減少傾向にあった。コロナの減少に伴い、東京、大阪の有名ホテルや料亭などへの内定者数も増やしていきたいと思う。

4. 令和3年度資格取得報告

各学科の主要資格・検定取得率について

- ・パティスリーラッピング 93.8%
- ・製菓衛生師 81.3%
- ・技術考査 88.2%
- ・食育インストラクター 100%

③保護者アンケートについて

回収率100% (昨年回収率87%)

どの設問もA、B評価が8～9割を占めるが、一部D評価が若干多い回答も見受けられる。

D評価に3名回答があったオンライン授業やメールに一斉配信に関しては、今後更なる改善が必要と考える。

○高評価項目

- 1 1. 就職指導に関する体制が整備されており、適切な指導が行われている (A評価: 45%)
- 1 2. 清掃が行き届いており、校内が綺麗である (A評価48%)
- 1 4. 教職員の対応は親切で誠意がある (A評価55%)
- 1 5. 面倒見がよく、最後までフォローしてくれている (A評価52%)
- 1 6. 本校に入学させて良かったと思える (A評価64%) ※昨年50%

○保護者意見

- ・連絡事項が遅い
- ・楽しみにしていた行事がすべてなくなり楽しみがなくなった
- ・子供の学校での様子が一度も見られなくて残念、定期的に画像配信してほしい
- ・研修の行かれなかった分の返金をしてほしい
- ・1人暮らしの学生へのお金的な支援をする制度が欲しい

- ・コロナウイルス蔓延の中、教育してくださりありがとうございました
- ・愛情をもって接してくれた先生方に感謝しています
- ・学校の様子を見られなかったのが残念
- ・免許も取得でき、入学前からの希望先へ就職できたので良かった

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

以 上